

大雪清流 でっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

- | | | |
|--------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| 4 健苗づくりに向けた管理方法を確認しましょう！ | 6 気象状況に応じた栽培管理を行いましょう！ | 8 第102回通常総会開催 |
| 11 農協・農事組合懇談会回答 | 14 令和7年度「東川町恵みの田園づくり支援事業」 | 15 令和7年度経営所得安定対策交付金【産地交付金等】 |
| 16 トピックス | 17 JAひがしかわ女性部よりお知らせ/人間ドックを受診しましょう！ | 18 100歳プロジェクト通信 |
| 20 農業用廃プラスチック処理受入れのご案内 | 21 ニューカントリー定期購読のご案内 | 22 来月のカレンダー |



農家の未来を見据えて

東川町稲作研究会 会長

いたや ともひと
板谷 智徳



みずとくらす。
JAひがしかわ

5
2025

vol.621



板谷 智徳

東川町出身。高校卒業後、(有)板谷農場へ就農。平成28年～令和元年稲作研究会理事に就任。令和2年～令和3年稲作研究会副会長就任。令和4年より稲作研究会会長へ就任。



Strong spirit of Challenge

農家の未来を見据えて

東川町稲作研究会 会長

いたやともひと
板谷 智徳

東川町稲作研究会会長を務める板谷 智徳さんにこれからの未来の稲作についてお聞きしました。

農業に携わって

高校を卒業後、地元東川町で就農し34年余りが経ちました。水稻単作で農業を営んできましたが、6年前にブロッコリーの作付けを始め、現在は複合経営を実践しています。

就農してからの34年を振り返ってみると、様々な出来事がありました。

数年前の「コープさっぽろ消費者交流会」では、私がJAひがしかわ青年部の部員時代にコープさっぽろに伺い、販売促進を行った際に、東川米を買ったことがきっかけで、それからはずっと東川米を食べていると話をしてくれた消費者の方がいました。その方は、結婚してから食卓に出したお米を食べた旦那さんから「このお米すごくおいしい!」と言われ、「昔から東川米を食べて育ったからいつもの味だけど、東川米と知らずに食べた旦那さんは、その美味しさに感激していました。今でも夫婦で東川米を食べています。」と嬉しそうに話をしてくれました。コープさっぽろへ販売促進に伺った当時の私は「東川米を購入していただいた消費者」の一人と想过いましたが、月日が経ち、このような消費者の生の声を聞くことが、今のわたしの米づくりの一番の励みにもなり、とても感激した思い出の一つです。今後も時代は変われど、生産者（産地）と消費者の繋がりを今まで以上に大切にしなければと感じています。

昨年は「令和のコメ騒動」による米価の高騰を始め様々なことがありました。そんな中、今の「東川米」ブランドが定着するまでには、東川町の多くの水稻生産者が、何十年と汗水を流しながら、良質米生産を続けたことで、ここまで辿り着いたと感じています。

今後も、品質、収量ともに安定した米作りを実践しながら、自分が育てた「美味しいお米を消費者の食卓に届けたい」という強い想いをもちながら、東川町の農業を盛り上げていきたいと思っています。

東川町稲作研究会会長として

東川町稲作研究会 会長に就任し4年目となりますが、より良い「東川米」を作るために、本研究会を起点に様々な情報発信を行い、町内の生産者と繋がりをもちながら、目標や課題を共有し、基幹作物である水稻生産の発展に寄与する活動を展開していきたいと考えています。

農家の未来への思い

「令和のコメ騒動」に伴う、米価の安定を目的とした政府備蓄米の放出など、様々なメディアで米価の価格高騰に対する過剰な報道がなされていますが、近年の農業を取り巻く環境がまだまだ生産資材価格の高止まりの厳しい中で消費者に対して農業への理解・大切さを少しでも感じてもらいたい。また、私達生産者としては、今年の米価は現段階ではわからないが、米価が高騰することで、消費者がお米を購入し食べてくれる機会が少なくなるのではないかと不安もあります。

そんな中、私達生産者としては、東川町の稲作農業の発展に尽力し、先人が開拓した東川町の農地を守りながら、日本人の主食であるお米をつくる生産者として努力を積み重ねていきたい。そのような想いをもちながら、現代の生産者一人一人が地域の農業にも明るい未来を描きながら、国民の食を支える農業者として切磋琢磨していきたいです。

JAへひとこと

生産者とJA職員が連携を取りながら協力し合い、東川町の農業を更に盛り上げていきましょう! また、生産者の農産物生産の励みになるよう「東川米」、「ひがしかわサラダ」の取引先からの声なども、広報誌(てっぺんだより)で発信して欲しいです。

- ・育苗期間中の病害を防ぐには「急激な温度変化や過湿、過乾管理を避ける」ことが重要となります。
- ・苗立枯病が見られた場合は、薬剤散布を行い、影響を最小限にとどめましょう。



水稻 苗立枯病



水稻 ばか苗病



水稻 褐条病

育苗規準一覧

		成苗ポット	中苗マット	高密短
播種量	乾粃	38g 程度	75 ～ 100g	250 ～ 300g
	催芽粃	75cc 程度	150 ～ 200cc	500 ～ 600cc
	10a 当	1.7 ～ 2kg	3 ～ 4kg	3.8kg
育苗日数		30 ～ 35 日	30 日前後	20 日前後
10a 当箱数		49 ～ 56 枚	34 ～ 40 枚	11 ～ 15 枚
目標草丈			10 ～ 12cm	10 ～ 12cm
目標葉数	ゆめびりか	3.6 ～ 4.3 葉	3.1 ～ 3.5 葉	1.8 葉以上
	ななつぼし	3.6 ～ 4.0 葉		
移植早限		移植後 5 日間の平均気温 11.5℃以上	移植後 5 日間の平均気温 12℃以上	—
移植晚限		6 月 5 日	5 月 31 日	5 月 31 日
㎡当株数		22 ～ 25 株 /㎡	25 株 /㎡以上	25 株 /㎡以上
株間			12cm 以内	12cm 以内

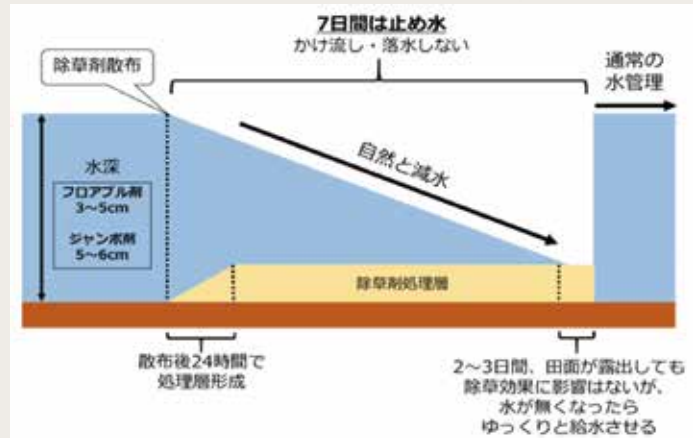
2. 移植時の注意事項

- ・移植作業は苗の状況や天候を十分に考慮して開始し、適正な栽植密度を確保しましょう。また、移植後の低温や強風が見込まれる場合は、移植作業を延期しましょう。
- ・転び苗や除草剤の薬害による生育不良を防ぐため、極端な浅植え（1cm以下）は避けましょう。逆に地温が確保できず分げつが遅れるのを防ぐため深植えにも注意が必要です。適正な移植深は「1.5～2.0cm」です。
- ・移植後はこまめに水深を調節し、好天時は浅水管理を行い分げつを促しましょう。

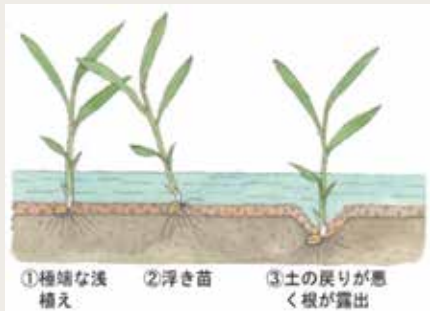
3. 薬害の注意と雑草対策

- ・圃場の均平を取り、田面が露出する部分がないようにしましょう。
- ・代かきから田植えまでに日数が開く場合は、雑草の葉齢が進むため早めの除草剤散布を心掛けましょう。

除草剤散布後の水管理



薬害の発生しやすい条件



健苗づくりに向けた管理方法を確認しましょう！

今月は気温の変化が大きくなりやすいため、焼け症状などの高温障害が発生しやすくなります。育苗期間中の急な温度変化に注意し、健苗育成に努めましょう。



1. 苗の管理

○苗の葉数の見方

- ・基本的に後から出てくる葉は、前の葉の約1.2倍の長さになります。また、前の葉の半分ほどの長さで0.4葉、同じ長さで0.8葉となります。

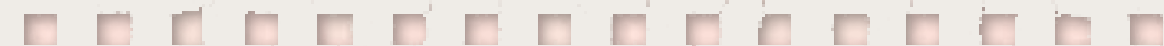
時期		播種～出芽前	出芽前～1.5葉期	1.5葉期～3葉期	3葉期～移植
目標		・出芽を揃える	・根の発育促進	・病気の予防、苗の徒長防止	・苗の硬化、老化防止
温度管理	目安	昼 25 ～ 32℃	20 ～ 25℃	18 ～ 20℃	18 ～ 外気温
		夜 10℃以上	10℃以上	10℃以上	10℃
	日中管理	・ハウスの換気	・ハウスの換気	・晴天時は早朝から換気 ・2.5 ～ 3.0 葉期は急激な高低温に注意	・昼夜ともに開放 ・外気に慣らし、苗質の硬化に努める
	低温対策	・日中に低温の場合はハウスを閉め、トンネルをかける	・日没前にハウスを閉め、トンネルをかける	・夕方からは早めにハウスを閉め、トンネルをかける	・霜予報の場合はハウスを閉め、トンネルをかける
水管理	目安	・土に適度な水分を保たせる		・夕方には苗箱内の土が乾く程度	・水分要求量の増大に見合った灌水
	方法	・床土全体に十分に浸透させる	・早朝から午前中に1度ですむよう行う		
	注意点		・中苗マットは根の発育を促進するため、過灌水を避ける ・成苗ポットは置床から吸水が始まるまでは水切れに注意	・晴天が見込まれる日の早朝は、土全体に行き渡るよう十分に灌水	・移植一週間前は水分要求量が多くなるので、水不足に注意する

追肥時期と追肥量

	追肥時期			主な追肥銘柄と1回当たりの追肥量	
	1回目	2回目	弁当肥	NP化成57	くみあい苗床追肥用液肥
成苗ポット	-	-	移植3日目	3.5g/箱	液肥2.5ml・水500ml/箱
中苗マット	1.5葉期	2.5葉期	移植3日目	7g/箱	液肥5ml・水500ml/箱
高密短	1.5葉期	-	-	7g/箱	液肥5ml・水500ml/箱

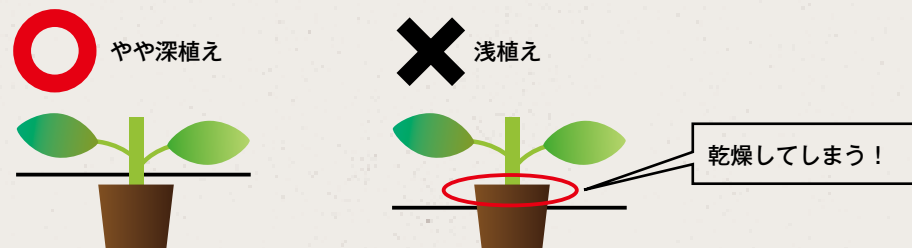
主な病害虫の特徴と発生条件

病名		症状	発生条件	薬剤（土壌灌注）	使用時期
苗立 枯病	ピシウム（ムレ苗）	スポット的に しおれる	緑化期の低温・過湿 高 pH（5.5 以上）	タチガレエース M 液剤 500 ～ 1000 倍液 （500ml/ 箱）	播種時 または発芽後
	フザリウム（赤カビ）	生育不良 しおれ 枯死		タチガレン液剤 500 倍液（500ml/ 箱） ＊	発芽後
	リゾプス（白カビ）		出芽時の高温多湿	ダコニール 1000 500 ～ 1000 倍液 （500ml/ 箱）	播種時 （ただし、播種 14 日 後まで）
ばか苗病		苗の徒長・黄化	種子への菌の付着 高温・多湿	対策：抜き取ってハウス外に埋める	
褐条病		葉や茎に褐色の線	育苗初期の高温多湿	対策：浸種・催芽時の食酢処理	



○ブロッコリー

- 自家育苗を行う際は、播種前にセルトレイなどの育苗資材を消毒してから実施しましょう。消毒を怠ると「根朽ち病」などの病害発生の要因となります。
- 2.5～3.0葉の若苗を定植しましょう。また、浅植えは乾燥害を受けやすく活着不良の要因となるため、やや深植えで定植を行ってください。



2. 病害虫と雑草の対策

○ナメクジ

- 昨年度は外来種であるナメクジ類が多発していました。今年度も多発すると予想されるため、ナメクジへの対策をしましょう。
- 対策
 - ①畑周りの除草を行う
 - ②圃場周りに地中まで波板等を打ち込む
 - ③薬剤防除を行う
- 例 クプロシールド（銅） 発生前～発生初期に施用 野菜類登録



○ガガイモ

- 多年生の雑草で、子実からの発生だけでなく根からも増殖します。陽が当たると急速に伸長し、高いところに巻き付くため、アスパラガス等に巻き付く。
- 現状、枯死できる除草剤がなく抑制効果しかない。
- 対策
 - ①侵入を防止し、地下茎から取り除く
 - ②抑止効果のある薬剤を散布する
- 例 バスタ液剤 播種前に施用



気象状況に応じた栽培管理を行いましょう！

5月は気温の変化が大きく、生育障害を招く恐れがあります。気象情報をこまめに確認し対策を講じましょう。

野菜



1. 露地野菜の圃場準備

○ブロッコリーやスイートコーンの播種・定植が始まりますが、発芽・初期生育不良を防ぐために、地温の確保や水はけの悪い圃場は透排水性を改善しましょう。特にスイートコーンは、播種後の地温が低いと発芽不良の原因となるため、露地野菜圃場の準備は早めに行いましょう。

○ブロッコリー施肥例（春・秋定植）

目標pH6.0～6.5

肥料銘柄	施肥量 (kg/10a)	10a 当たり成分量		
		窒素	リン酸	加里
基肥	NS222	80 kg	9.6	9.6
	ON10	14 kg	1.4	0.4
追肥	NS248	20 kg	4.0	0.8
合 計		15.0	11.0	11.6

※基肥にマイフィッシュを使用する場合は「30kg/10a」で施肥

○スイートコーン

目標pH6.0～6.5

肥料銘柄	施肥量 (kg/10a)	10a 当たり成分量		
		窒素	リン酸	加里
基肥	S380	100 kg	13.0	18.0
追肥	硫安	30 kg	6.3	—
合 計		19.3	18.0	10.0

※上記のほかにも使用したい肥料等ございましたら購買指導課までご相談をよろしくお願いいたします。

2. 露地野菜の栽培管理

○スイートコーン

- スイートコーンは地温が低いと発芽不良を招く恐れがあります。無理な早播きはせず、マルチ等を利用して地温を13℃以上確保してから播種を行い、一斉に発芽させましょう。

○作業手順



発芽までの日数（目安）

発芽温度	発芽日数
10～13℃	18～20日
15～18℃	8～10日
21℃	5～6日

第102回通常総会開催

4月8日（火）、ＪＡひがしかわ本部事務所2階ホールにて第102回通常総会を正組合員430名のうち324名（本人出席53名、代理出席3名、書面議決による出席268名）参加のもと開催いたしました。

総会開催前には、次期参院選比例代表へ臨む東野ひでき氏からのビデオメッセージ視聴、一般社団法人北海道報徳社より全道の農村において永年、同一地域で地元農業基盤の発展に尽力をいただいた方に表彰される「北海道報徳善行賞」を28区農事組合の三田常男氏が受賞したことから表彰状と記念品の授与が行われました。

総会では、議長に選任された第三地区農事組合 佐竹 国広氏、西部東農事組合 篠原 猛志氏の議事進行により議案第1号から議案第7号全ての提出議案が原案どおり可決承認されました。その後、「ＪＡバンク基本方針の変更について」「労働保険事務組合の令和6年度の徴収及び納付状況の報告について」の報告を行い、樽井会長より情勢報告と牧組合長より挨拶がありました。



提出議案並びに特別決議

- 議案第1号「令和6年度事業報告、剰余金処分案の承認について」
- 決算報告「令和6年度貸借対照表、損益計算書、および注記表並びに会計監査人及び監事の監査報告について」
- 議案第2号「定款の一部変更について」
- 議案第3号「規約付属書監事監査規定の一部変更について」
- 議案第4号「目的積立金の積立目的および取崩基準の変更について」
- 議案第5号「令和7年度事業計画の設定について」
- 議案第6号「賦課金の賦課及び徴収方法について」
- 議案第7号「役員報酬の支給について」
- 報告事項1「ＪＡバンク基本方針の変更について」
- 報告事項2「労働保険事務組合の令和6年度の徴収及び納付状況の報告について」

組合長挨拶

代表理事組合長 牧 清隆



開会にあたり、「一言」ご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には大変お忙しいなか、多数のご参会を得て、ここに第102回通常総会を開催できますことを、心より感謝申し上げます。本日は、公務ご多忙中にもかかわらず、東川町 菊地町長、東川町議会 能登議長をはじめ、日頃多岐にわたりご指導ご支援を頂いております各関係機関・団体の代表の皆様、ＪＡ北海道中央会旭川支所 林支所長をはじめ、系統連合会より多数のご臨席を賜り、高い席からではございますが衷心より厚くお礼を申し上げます。

只今、情勢報告を頂きました樽井会長におかれましては、全道各地はもちろん全国を飛び回りご活躍されておりますことに対しまして、敬意を表しますとともに、本日もお忙しいなか駆けつけてくださり、誠にありがとうございます。

さて昨年は、農政の憲法といわれる「食料・農業・農村基本法」が25年振りに改正されましたが、この四半世紀で変化してきた生産現場の現状や国内外の経済情勢、地球温暖化の影響に伴う環境意識の高まり、国際情勢による食料安全保障の強化を見据えた法制度等を整備する内容となりました。また、昨年11月に開催された第31回ＪＡ北海道大会では、2030年の目指す姿を示した将来ビジョン、「力強い農業と豊かな魅力ある地域社会」の実現に向けて、ＪＡグループ北海道が一丸となって実践すべき事項を決議いたしました。さらに、昨年4月には東川町とＪＡの第17次農業振興計画、第19次中期経営計画がスタートされ、様々な実践項目を展開するとともに継続して、本町ブランド農産物「東川米」「ひがしかわサラダ」を安定供給できる

価格の上昇により、販売品取扱実績は当初計画を上回る農産物合計で4,469,277千円の実績となりました。

これにより令和6年度決算は、税引前当期純利益は363,483千円、税金等を差し引いた当期剰余金は291,078千円となりました。前年度からの繰越剰余金を加えた当期末処分剰余金は312,984千円となり、その処分については、本総会にてこの後お諮りいたします。また、金融機関として財務健全性を示す指標である自己資本率は31.73%となり、引き続き高い安全性を確保することができましたこと、組合員ならびにご家族の皆様、利用者の皆様の多大なるご理解とご協力、ご利用にあたためて感謝申し上げます。

令和7年度の事業計画では、先程も触れましたが、本年「ひがしかわライスターミナル」が竣工し、9月より米穀乾燥調製貯蔵施設が本格稼働いたします。国内初となる機能を有した精米工場と、乾燥調製貯蔵施設の能力を最大限に発揮し、生産者のトータルコスト低減や出来秋作業の省力化・効率化、更には高い調整能力により、安定的かつ高品質な原料玄米をストレートに掲精することができ、その精米を地元町民や飲食店へ提供するとともに、国内外に販路を拡大させ、東川米の高付加価値化とブランド化を目指してまいります。施設建設の財源では、国費はもとより東川町より常々多大な厚意を賜りましたこと、組合員・生産者を代表し、改めて深く感謝申し上げます。今後の米穀販売事業に向けても、引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。

また、東川米関連施設建設委員会や研究会の皆様には、幾度も会合を重ね、施設建設や運営のルールづくりなどを担っていただき、利用者への説明会などご協力いただいてまいりましたこと、感謝申し上げます。農地再編整備事業による水田大区画化と、スマート農

よう、競争力ある産地づくりを展開しています。

国は、生産コスト上昇分を販売価格に転嫁できるように促す関連法の改正案を閣議決定しましたが、現在も米価高騰が続く中、価格抑制と国内消費量を維持させるために、政府備蓄米を放出しているところです。当組合は、これからも安全・安心で高品質な東川産農産物を消費者に安定供給することで更なる有利販売を実現させ、生産者所得の向上に繋げて参ります。組合員の皆様におかれましては、引き続き第17次農業振興計画、第19次中期経営計画の着実な推進を賜りたいと存じます。

昨年の営農を振り返りますと、春先は寒暖差の激しい日々が続きましたが、6月以降は天候も回復し、平均気温はかなり高く推移したものの大きな被害もなく、高温条件下でも安定した収量と品質を確保することができました。加えてコスト上昇分の価格転嫁の実現や全国的な在庫不足による「令和の米騒動」、猛暑による府県産野菜の供給量減少などにより、米・青果物の取引価格は上昇できたことで、厳しかった経営環境を乗り越えることができました。さらに有利な取引価格と東川産ブランドの信頼関係を維持するためには、継続出荷が最重要であることから、各研究会の皆様のご協力のもと、作付面積の維持・拡大にも努めてまいりました。

当組合の経営基盤となる組合員数は、法人を含む正組合員数では前年度対比13人減の430人、団体等を含む准組合員は52人増の1,215人となり、離農や農地賃貸等により正組合員数の減少が進んでいます。このような状況の中、昨年10月に野菜集出荷場や資材倉庫を会場に「組合員ふれあい祭り」を開催し、新米販売や様々なイベントブースに多くの来場者で賑わい、大盛況の中で開催することが出来ました。組合員や地域住民とのふれあいを通じて、当組合の役割を理解し

業技術の積極的な導入に、この「ひがしかわライスターミナル」が新しく加わり、本町農業は、今年から新時代を迎えることとなります。ライスターミナル事業以外では、地域に密着した事業展開を目指すため、家族葬や会合利用を目的に旧スタンド跡地に「多目的交流施設」の新築工事を計画します。また、経年劣化により老朽化が進んでいるアグリサポートセンターやホクリツ農業倉庫の屋根・壁面の修繕を新たに計画いたします。さらに今回の新築工事に伴い遊休資産となっている旧スタンド事務所の解体や、倒壊の危険性がある本部事務所の煙突撤去も計画しております。

本町のブランド農産物「東川米」「ひがしかわサラダ」は、地元住民を中心に「地消地産」運動を拡大させ、食育活動と販促活動を通じて組合員をはじめ町民皆様に満足していただく事業展開のもと、ＪＡの「総合事業はより良い地域社会を実現させるために」を念頭に、本年も各種事業を展開して参ります。

最後に冒頭、ご本人よりメッセージを頂き、樽井会長からもお話がありました。本年7月に行われます参議院議員通常選挙に関してであります。全国のＪＡグループの農政組織である全国農政連では、参議院通常選挙に向けて、現在ホクリンの代表監事であり、ＪＡ道北なよろの会長であります東野ひできさんを、全国ＪＡグループの代表として決定し、当組合においても昨年、全国比例区の最適候補者として、推薦を決定した経過にあります。現在、東野ひできさんは、一人でも多くの方からのご支援ご協力をいただくべく、道内はもとより全国都府県を休みなく訪問し、農政に対する思いを訴えております。上川・北海道農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、農政運動が重要な役割を担っていることをご理解いただき、当組合をはじめ、全道・全国のＪＡ組織が一丸となって、東野ひできさんへの支援の輪を広げるべく、組合員ならびに本日お越しの各関係機関・団体の皆様方のご理解とお力添え

令和6年度の事業成績では、信用事業は昨年も組合員や地域の皆様のご利用と、東川町のご協力をいただき、貯金は、当初計画を超える20,805,063千円、貸出金は4,620,830千円の実績となりました。また、共済事業は長期共済保有高の減少傾向が続いており、期末保有高は28,176,800千円の実績となりました。購買事業の肥料・農薬や燃料などの取扱高は2,284,101千円、米穀・青果物は取引

固定設備では、東川町より多大なるご支援ご協力のもと、待望の「ひがしかわライスターミナル機能性精米工場」が昨年7月より本格稼働し、東川産精米を町民をはじめ多くの消費者の食卓へ届けることができました。また、昨年7月には建設承認許可を受けたライスターミナル本体の「大型米穀乾燥調製貯蔵施設」建設は順調に工事が進んでおり、本年9月の受入開始に向けて完成が待ち望まれるところです。

昨年12月には、農業のグリーン化に必要な堆肥の製造と保管、ひがしかわライスターミナルから排出される粃殻の集積場として、「地域バイオマス資源循環加工施設」が完成しました。これからも堆肥投入による健全な土づくりの励行や土壌改良剤、粃殻固形燃料等への活用を図り、環境に配慮したより安全で安心な農産物づくりや町民の暮らしにも寄与して参ります。

を何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が農作物全般にわたって豊穡の秋が迎えらるることを切に願い、あわせて本日で出席の皆様のご健勝を心よりご祈念も申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いたします。

情勢報告

JAひがしかわ会長理事
北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
樽井 功



第102回 通常総会にあたりまして、せっかくの機会でございますので、情勢報告を申し上げます。まずもって、組合員の皆様におかれましては、時節柄何かとご多用の中、通常総会へご出席賜りましたことに厚くお礼申し上げます。昨年は、寒暖差の激しい時期があったものの平均気温と降水量は安定に推移し、幸い災害もなく、高品質な農産物を多く収穫することができました。そんな中、6月には待望の「ひがしかわライスターミナル機能性精米工場」が完成し、組合員はもとより消費者のニーズや期待を正確に把握することができ、より良い品質の精米商品の提供のもと、組合員や地域住民との信頼関係をさらに強化することができ、また、役職員が一丸となって責務を全うした結果、令和6年度決算は大きな成果を残すことができました。後ほど、詳しい説明があるかと思いますが、令和6年度においても、組合員・JAの意思結集による事業展開と、東川町をはじめ関係機関の皆様と一体となった取り組みが実を結んだ証であり、このことに敬意を表するとともに、改めて感謝申し上げます。

さて、最近の農業とJAをとりまく情勢につきまして、何点かお話をさせて頂きたいと存じます。はじめに農政関係についてであります。昨年6月、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、「食料安全保障の確保」「環境と調和のとれた食料システムの確立」等の基本理念が位置づけられました。これを受け、今月、新たな基本法のもと、食料自給率目標を45%に設定するとともに、農業の構造転換を今後5年間で集中的に進めることなどを内容とする基本計画が閣議決定される見通しにあります。昨年来、食料安全保障の確立に向け、JAグループ北海道としても精力的に要請活動

を行って参りましたが、農業の構造転換にふさわしい十分な予算が確保されるよう切に願うばかりであります。また、JA経営面ではありますが、経営基盤の強化に加え、昨今の環境変化に伴い、JA職員の人材育成、確保対策が全道的に大きな課題となっております。経営上の諸課題についても、JAの総合力を発揮した取り組みを推進していくことが重要であります。

こうした中、昨年11月に開催された第31回JA北海道大会においては、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。令和7年度は実践初年度であり、議案の達成に向けて、組合員・JA・連合会が一丸となつて、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、JAの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組む所存でございます。

次に、本年7月に行われる参議院議員通常選挙の関係であります。JAグループの代表として、また農業者の代表として、比例代表候補予定者であります東野ひでき氏は、道内はもとより全国を巡回し、支援の輪を拡げる取り組みを行っております。現在の農業・JAを巡る環境下において、生産現場の意見を国の政策に反映させることは極めて重要であり、政治力の強化が必要であります。しかしながら、取り巻く情勢は大変厳しい状況にあり、我々の目標を達成するためには、JAグループ北海道の強い結集力が求められます。北海道農業・地域社会のためにも東野ひでき氏に対する更なる支援の拡大に向け、皆さま方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が豊穡の秋を迎え、そして皆様のご健勝でありますことを心からご祈念申し上げます。情勢報告とさせていただきます。



農協・農事組合懇談会 意見と回答

実施日：令和7年3月12日(水)

貴重なご意見ありがとうございました。今後の事業運営に反映させてまいります。

営農企画課

【意見】JA青年部では地域貢献活動を計画していますので、ご協力をお願いいたします。

【回答】JAも地域行事への積極的な参加や食農教育、健康増進活動の支援など、さまざまな社会・地域貢献活動を行っています。青年部や女性部と共通する地域の課題や取り組みについては、連携して取り組みます。

米穀課

【意見】ひがしかわライスターミナル（以下、ライスターミナル）稼働中の見学は可能か。

【回答】ライスターミナルの視察は、見学者の安全性を確保するために事前申込みにて対応しています。ご希望されます方は、管理課までご連絡ください。

【意見】ライスターミナル稼働により

発生する粃殻や米糠はどうするのか。

【回答】粃殻や米糠の多くは、土壌改良資材等（堆肥・モミガラ燐炭）原料として、クリーン農業やバイオマス資源としての可能性を広げていきます。

【意見】ライスターミナルへの出荷準備に向けて、コンテナ用の雨除けカバーやハンドリフトの規格を教えて欲しい。また、その費用の助成はないのか。

【回答】コンテナカバーやハンドリフトの規格等については、購買指導課、機械燃料課までお問い合わせ下さい。また、費用の助成はなく全額自己負担となります。

【意見】ライスターミナル稼働に伴い、現在の玄米センターは、今後どのように利用するのか教えてほしい。

【回答】玄米センターへの受入は中止となり、今後の運用については検討中です。

【意見】ひがしかわライスターミナル利用推進連絡協議会総会時に、あらた

めて利用ルール等の説明はあるのか。

【回答】4月25日開催の利用推進連絡協議会設立総会時に、ご利用方法・料金等についてご説明いたしますので、出席くださいますようお願いいたします。

【意見】ライスターミナルの受入時間は15：30までとなっているが、17：00まで延長とはならないのか。

【回答】ライスターミナルの受入時間は、原則7：00から15：30までとなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【意見】ライスターミナル稼働により、秋作業の省力化が図られる。ひがしかわサラダ（野菜）の作付け拡大が必要ではないか。

【回答】ライスターミナルの有効活用にて、高収益な施設野菜やブロッコリーなど露地野菜の導入による複合経営を推進して参ります。

【意見】直売所構想について教えていただきたい。

【回答】直売事業は、昨年度より町民や町内事業者へ精米商品の定期配送を開始しましたが、直売所（販売店舗）設置に向けて、運営上の特徴など分析・調査してまいります。

【意見】東川米の1合パックは、暑中見舞いや出産祝いなど写真印刷をしたオリジナル商品の発注は可能になるのか。

【回答】小量ロットの注文は受け付けておりませんが、今後は東川町や商工会などとも連携し、精米商品のアイテム数を増やして参ります。

【意見】東川米の宅配事業の告知と内容を広く知らしめて欲しい。また、出荷された玄米は全て精米として販売されているのか。

【回答】ホームページへの掲載やチラシ配布など、さまざまな手段により幅広く周知を図って参ります。また、昨年出荷いただきました玄米全量の35.6分を精米として取扱っております。

【意見】中長期営農計画を策定する上で、東川米を中心に農産物価格は非常に重要になってくる。7年産米の概算金や買取価格は、早い段階で価格提示をお願いしたい。早期に価格提示することでJ A集荷率の向上も図れると思う。

【回答】今後も安全・安心で高品質な東川産農産物を消費者に安定供給すること、更なる有利販売を実現させ、生産者所得の向上に繋げます。また、米価の提示は、市中の価格動向を見極め、提示時期は前倒しを検討して参ります。

【意見】ななつぼしの刈取適期が早く、J A倉庫での一時預かり対応は可能か。

【回答】作柄や刈取適期を予測し、品別（ゆめぴりか・ななつぼし）に受入日・受入可能数量を設定いたしますので、事前予約による期日内の出荷をお願いします。

【意見】運送会社による有償運搬の補助業務をJ A青年部で行うことはできないのか。

【回答】米など有償運搬する場合は、所定の事業免許を有することが条件となっているため、補助も含め運送業務は非常に難しいのが現状です。

◎米穀課・機械燃料課・金融課

【意見】ライスターミナル出荷への事前準備にかかり、機械燃料課による施設調査の確認巡回が行われたが改修提案がない状態である。また、助成支援などは検討しているのか。

【回答】現在、メーカーに見積依頼しており、見積書の取得後あらためてご連絡いたします。

なお、助成金制度等はありませんので、予めご承知おきください。

◎米穀課・青果課

【意見】農産物の任意保険加入に伴い「大雪清流物流通安定化基金」制度は、どのようになるのか。

【回答】J A農産物・加工品は、幅広いリスクをカバーできる食品リール保険、国内P L保険、物流総合保険加入による新たな補償制度に切り替えます。平成22年に創設したJ A独自基金制度は今春をもって終了させ、生産者積立金は本年6月以降に全額返還いたします。

◎米穀課・青果課・(株)東川農業振興公社

【意見】農業振興公社の業務範囲を教えていただきたい。野菜生産や水稻育苗などの技術提供も組合員に伝えほしい。また、圃場輪作試験結果など情報提供もお願いしたい。

【回答】業務内容については、直接農業振興公社までお問い合わせ下さい。また、地力低下に伴いセンター内圃場は輪作体系を導入しましたので、収量・品質結果が分かり次第お知らせします。

◎青果課

【意見】今年も米価高騰が予想され、その反動により野菜作付けの停滞が懸念されることから、今後の野菜振興策について教えてもらいたい。

【回答】ひがしかわサラダは、本町農業における複合経営の最重要作物であり、ライスターミナルが完成するこれからも農業経営のリスク分散と収入確保に重要な役割を果たします。今後も産地交付金の活用や作業支援体系を整備しながら計画的な生産を推進します。

【意見】ハイブリット型園芸施設による実証試験結果を提供して欲しい。

【回答】ハイブリット型水耕栽培試験は、来年度の実証試験に向けて現在調査中です。本町の特徴を活かした野菜生産のモデルとなるよう、次世代園芸施設の今後のあり方を検討して参ります。

【意見】野菜集出荷場の乾燥機は、組合員利用も可能か。

【回答】乾燥機の使用は、衛生管理や担当者の配置など所定の条件を満たすことが必要となります。ご希望されす方は、青果課までご相談ください。

◎青果課・(株)東川農業振興公社

【意見】ブロッコリーの収穫作業は、手収穫をメインとした方がよいのではないか。また、大玉トマトの生産拡大が見込めないのなら共同選果事業は縮小になるのではないか。

【回答】今後も人手不足下で賃金の上昇が予想されることから、機械化を進めることが一層重要になってきます。また、共同選果事業でも機械化にてブロッコリーの出荷量が増加したことか、従業員の見込みと確保を可能とし、大玉トマトも含め安定した選果作業を持続することが出ています。

【意見】労働力が足りず、野菜を生産できない組合員も多くいる中、J Aや農業振興公社による労働力支援体制の導入も検討していただきたい。

【回答】農業振興公社では限定的メニューで農作業支援を実施しております。ご希望の方は農業振興公社、または青果課までご相談ください。

◎購買指導課

【意見】粳穀100%の環境に優しい固形燃料（以下、モミガライト）の価格を教えて頂きたい。

【回答】東川米の粳穀100%で出来た環境に優しいモミガライトの希望小売価格は、ケース1,100〜1,200円/10kgを想定されています。

【意見】現在計画の多目的交流施設（仮称…J Aセレモニーホール）内に、調理室を設置してほしい。また、設置が難しい場合はJ A事務所の2階調理室を改修してほしい。

【回答】J Aの多目的交流施設内設置やJ A事務所調理室の改修工事等は計画しておりませんが、今後、東川町が建設を予定しています「東2号農村体験施設（コープの家）」では、厨房機器が整備されますので、その利

用の可能性について要請して参ります。

【意見】多目的交流施設の建設時期と完成時期について教えてください。

【回答】多目的交流施設の建設は、5月に旧スタンド施設の解体、本年8月に新築着工、翌年4月完成予定で工事を計画しております。

【意見】多目的交流施設建設は、旧スタンド解体工事も含め、事業の成長と収益性が見込まれる施設であれば早期着工したほうが良い。

【回答】多目的交流施設を運営する上で重要なのは、利用者の満足度や安心感を高めることであり、その結果、収益性も高まります。組合員はもとより多くの町民にご利用いただけるよう準備を進めて参ります。

【意見】営農情報の収集は、個別に取得が出来る時代である。職員の業務効率化に向けてT A C巡回の回数を減らしても良いのではないか。

【意見】職員の限られた労働時間の中でT A C巡回等に割く時間は必要なのか。現場作業がある部署については厳しいのではないか。そもそも職員の労働時間を有効に使えるようT A C巡回のあり方も見直してはどうか。

【回答】T A C訪問は、組合員・生産者と職員のコミュニケーションを高

め信頼関係を築くことも目的としていますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

◎経営指導室

【意見】経営面積の拡大に伴い、税金の支払いも増加してきている。また、今後どのような経営をしたら良いのか、どのタイミングで設備投資したら良いのかなど相談できる体制づくりをお願いしたい。

【回答】今年度より個別に中長期5か年営農計画策定を開始し、今後の経営状況や経営見込み面積、農地や農業機械等の設備投資状況の把握に努め、経営改善や相談機能を強化して参ります。農業経営に関して何かご不明な点がございましたら、経営指導室または金融課までご相談ください。

◎管理課

【意見】働き方改革による労働環境改善が組織に求められる時代で、職員の業務負担軽減対策と若年層の離職率低減に努めて欲しい。

【回答】労働時間や賃金体系、教育体制に評価制度の見直しなど、離職率低下対策も含め職員自ら労働意欲を高めてやりがいを感じられるよう職場環境を改善して参ります。

◎共済課

【意見】農業用ドローンの保険料が高い。北海道農業では通年使用できないので、数か月間の短期契約など少しでも負担を減らせるよう検討してほしい。

【回答】現在のドローン保険は1年契約のみの取扱いとなっています。今後さらにドローン需要が増加すれば、保障内容や保険期間など見直しされる可能性もありますので、その際は改めてご案内いたします。

【意見】最近、山林火災が多く発生しているが、現在加入中の共済は保障の対象になるのか。

【回答】一般的な山林火災により建物に損害が発生した場合は「建物更生共済」および「火災共済」において共済金の支払対象となります。ご契約内容などご不明な点がございましたら共済課までお問合せください。

令和7年度 経営所得安定対策交付金【産地交付金等】

取組要件無
(予定額/10a)

水田活用米穀	加工用米	【コメ新市場事業】 ●30,000										【全道枠⑦】 ●13,000	【全道枠⑧】 10,000	【全道枠⑥】 ●15,000	【全道枠⑤】 5,000	【地域枠⑨】 ●8,000	【地域枠⑩】 3,000
	飼料用米	収量に応じた交付単価 一般品種 55,000～85,000 (●標準単価 70,000) 多収品種 55,000～105,000 (●標準単価 80,000)										【全道枠⑦】 ●8,000	【全道枠⑧】 5,000	【地域枠⑨】 ●8,000	【地域枠⑩】 3,000		
	米粉用米	収量に応じた交付単価 55,000～105,000 (●標準単価 80,000)										【全道枠⑦】 ●15,000	【全道枠⑥】 ●15,000	【全道枠⑤】 5,000	【地域枠⑨】 ●8,000	【地域枠⑩】 3,000	
	新市場開拓用米	【コメ新市場事業】 ●40,000	【全道枠⑦】 20,000	【全道枠⑤】 10,000	【全道枠⑥】 ●15,000	【全道枠⑧】 5,000	【地域枠⑩】 20,000	【地域枠⑨】 10,000	【地域枠⑩】 3,000								
野菜	重点施設野菜	【地域枠①(価格固定)】 ●70,000										【地域枠⑩】 3,000					
	ブロッコリー	【地域枠②(価格下限設定)】 ●60,000 (下限 40,000)										【地域枠⑩】 3,000					
	露地ねぎ	【地域枠③(価格固定)】 ●38,000										【地域枠⑩】 3,000					
	未成熟とうもろこし	【地域枠④(価格下限設定)】 ●20,000 (下限 15,000)		【地域枠⑥】 3,000													
	未成熟とうもろこし以外	【地域枠⑤(価格下限設定)】 ●15,000 (下限 10,000)															
地力作物	【地域枠⑦】 ●15,000	※翌年度に振興作物（水稲（非主食用米）、野菜）を作付することを条件とする。															
大豆	●35,000	面積払い※1 ●20,000		面積払い※2		【地域枠⑥】 3,000		→【地域枠⑥】 白大豆のみ助成 ※取組要件設定 (3,000円/10a 以内)									
そば	面積払い※1 ●13,000	面積払い※2		【地域枠⑧(追加枠)】 ●20,000													
飼料作物	●10,000	収穫のみの場合															
	●35,000	播種～収穫の場合															
※1 面積払い 当年産の作付面積を生産面積として支払う。 ※2 数量払い 出荷数量確定後、面積払いの金額を差し引いた額を支払う。（面積払い申請者は基準単収の1/2に満たない収量の場合、理由書が必要） （※1、2いずれも交付対象者が認定農業者等に限られる。） （参考）基準単収 大豆 136kg/10a そば 70kg/10a																	

コメ新市場事業

水田活用本体
（戦略作物助成）

産地交付金
【地域枠】

産地交付金
【全道枠】

畑作物
直接支払交付金

【地域枠 地域協議会配分単価（上限金額）】

①重点施設野菜振興加算	70,000円/10a	重点施設野菜の作付及び出荷に対し助成します。
②重点露地野菜振興加算	60,000円/10a以内	重点露地野菜（ブロッコリー）の作付及び出荷に対し助成します。
③重点露地野菜振興加算	38,000円/10a	重点露地野菜（露地ねぎ）の作付及び出荷に対し助成します。
④主要野菜振興加算	20,000円/10a以内	主要野菜(未成熟とうもろこし)の作付及び出荷に対し助成します。
⑤主要野菜振興加算	15,000円/10a以内	主要野菜(未成熟とうもろこし以外)の作付及び出荷に対し助成します。
⑥ブロックローテーション取組加算	3,000円/10a以内	令和5年度ブロッコリー作付圃場に未成熟とうもろこし、白大豆の作付及び出荷に対し助成。
⑦地力向上加算	15,000円/10a	地力増進作物に対して助成します。翌年度に地域振興作物の作付を行う作物のみ対象。
⑧そば生産助成（追加枠）	20,000円/10a	適期作業、適切な圃場管理を行ない、良質なそばの生産、出荷に向けた取組に対し助成します。
⑨水田活用米穀品質向上加算	8,000円/10a	非主食用米(輸出用米・資源米を除く)の作付にあたり、東川米GAPに基づく農業の低減化等、品質向上への取組・出荷を行なった農業者に対し助成します。
⑩新市場開拓用米生産助成（追加枠）	20,000円/10a	新市場開拓用米（輸出用米、資源米）の作付及び出荷に対し助成します。
⑪複数年契約加算	10,000円/10a	新市場開拓米を作付けし、出荷する集出荷団体と実需者が複数年契約（3年以上（1年目かつコメ新市場開拓等促進事業対象面積に限り））を結んでいる場合に対し助成します。
⑫振興作物規模拡大加算	3,000円/10a以内	令和5年度から産地の振興作物作付の増加面積に対し助成します。
※上限単価としているため、配分状況により今後変動する可能性があります。		

○支援品目
【重点施設野菜】：大玉トマト、ピーマン、軟白長ねぎ、ミニトマト
【重点露地野菜】：ブロッコリー、露地ねぎ
【主要野菜】：未成熟とうもろこし、キャベツ、ほうれんそう、チマサンチュ、みつば、レタス、パセリ、ハーブ、小松菜、春菊、大根、かぼちゃ、わさび菜、にんじん
【ブロックローテーション取組加算】：未成熟とうもろこし、白大豆 ※前年ブロッコリー作付した圃場のみ対象
【振興作物拡大加算】：加工用米、飼料用米、米粉用米、新市場開拓用米、重点施設野菜、重点露地野菜（ブロッコリー）、重点露地野菜（露地ねぎ）

令和7年度「東川町恵みの田園づくり支援事業」抜粋

科 目			助成率 (%)	備 考	
基盤づくり対策	振興作物規模 拡大支援事業	水稲育苗ハウス資材助成	30	内 容	水稲面積拡大に伴う水稲育苗施設（ハウス）費 ※増加面積にもとづき助成額を算出
				目 的	「生産の目安」の維持と、需要に応える水稲規模（面積）拡大に向けた振興（ブランド維持）
				対象者	町内水稲生産者
				要 件	前年度と比べ、水稲作付面積が増加している生産者
		野菜ハウス資材助成	50	内 容	水稲ハウス有効活用資材費（ヤシガラ培地・液肥混入機・配管設備等）助成
				目 的	水稲育苗後の「隔離栽培」方式による施設重点作物の作付け拡大
				対象者	町内野菜生産者
				要 件	前年度と比べ、野菜作付面積が増加している生産者
		重点野菜促進助成	20	内 容	トマト・ピーマン・ブロッコリー共同選果利用料助成
				目 的	共同選果利用促進と振興作物生産規模拡大に向けた振興
ものづくり対策	農産物品質 向上推進事業			対象者	町内野菜生産者
				要 件	共選利用 80%以上
		重点野菜規模拡大助成	15	内 容	重点施設野菜（大玉トマト・ミニトマト・ピーマン・軟白長ねぎ）、重点露地野菜苗（ブロッコリー・露地ねぎ）の苗代（JA 委託分）に対し助成
				目 的	重点施設、重点露地野菜の作付け面積維持・拡大
				対象者	重点野菜生産者
		省力化機械作業助成	10	内 容	ブロッコリー機械収穫委託作業料・徐稈機械委託作業料助成
				目 的	省力化に向けた機械作業委託の振興
				対象者	町内生産者
		ケイ酸質資材投入助成	20	内 容	ケイ酸追肥資材助成（アドシリカ・KSK・粒状ケイカル等） ※対象品種：ゆめびりか
				目 的	ケイ酸資材施用による高品質米生産
地域づくり対策	土(生産基盤) づくり促進事業			対象者	町内水稲生産者
				要 件	事業費上限金額：1,000 円 /10a
		異常気象対策助成	30	内 容	施設（遮光ネット・循環扇・ミスト噴霧装置・自動巻上機）、露地（灌水装置一式）費用助成
				目 的	異常気象による被害対策
				対象者	町内生産者
				要 件	上限金額：300 千円
		堆肥投入助成	50	内 容	堆肥購入費・ハウス内散布委託費
				目 的	水稲・野菜等、品質・所得向上に向けた土づくり
				対象者	JA 組合員・准組合員
		スマート機器導入助成	20	内 容	スマート機器（タブレット）購入に対する 20%の助成を講じる
地域づくり対策	スマート機器 導入助成	スマート機器（タブ レット）導入助成	20	目 的	JA コネクト、生産履歴システムの普及拡大による作業効率化、外郭組織などの会議におけるコスト削減（ペーパーレス）に向け、タブレット導入に対する助成
				対象者	町内生産者
				要 件	上限金額：生産者 1 名当たり 1 機、20,000 円

JAひがしかわ女性部よりお知らせ

道内視察研修参加者募集

女性部で道内視察研修を開催します。ぜひ、部員以外の皆様にもご参加いただき和気あいあいと情報交換などしながら女性部活動に参加してみませんか？

お仲間を誘っての参加もOKです♪

日 時： 6月12日（木）
JAひがしかわ本部事務所裏
8:15集合（出発8:30）
視察先： 宝水ワイナリー（岩見沢市）
高校生レストランまごころきっちゃんの昼食（三笠市）
富良野チーズ工房・富良野マルシェを回ります。
JAひがしかわ到着時刻 16:30予定
参加費： 4,000円 ※当日、現金にて徴収いたします。
※先着10名様 受付締切5月12日（月）

お問い合わせは営農企画課女性部事務局
南谷（TEL82-2124）までお願いします。

早期発見、早期治療のために
人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。
■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2025年6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	○	○	○	○	×	×
8	9	10	11	12	13	14
×	○	○	×	×	○	×
15	16	17	18	19	20	21
×	○	○	○	○	○	×
22	23	24	25	26	27	28
×	○	○	○	×	×	○
29	30					
×	○					

2025年7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		○	○	○	○	×
6	7	8	9	10	11	12
×	○	○	×	×	○	×
13	14	15	16	17	18	19
×	○	○	○	○	○	×
20	21	22	23	24	25	26
×	×	○	○	○	○	×
27	28	29	30	31		
×	○	○	○	○		

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日

予約表の見方：○10名以上の空き △残りわずか ×予約が埋まっています
お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。
人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農企画課（Tel82-2124）まで

正組合員（本人・同居家族）
准組合員限定
人間ドック検診費用助成

厚生病院での一般受診料金
44,000円が

31,900円に！

※オプション検査は助成対象外

JA HIGASHIKAWA
Topics

令和7年度 新入組職員

4月1日（火）、新たに4名の職員が入組し、農協2階ホールにて入組式が行われました。

緊張した面持ちの新入組職員に対し牧組合長より激励の言葉が送られ、その後、辞令交付が行われました。式の最後には各部長より事業説明が行われ真剣な眼差しで説明を受けていました。



東川町出身
管理部 経理課
鈴木 颯太

これまでの経験を活かし、より一層成長できるよう日々精進致します。まだまだ分からないことが多くありますが、ご指導の程よろしくお願い致します。



タイ出身
営農販売部 営農企画課
スプリーチャーウツティボン・アーパシリ
谷 かおり

外国人として日本の文化や礼儀などまだわからない事がたくさんありますが、貢献できるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



東川町出身
購買部 機械燃料課
谷 かおり

日々多くのことを学び一日でも早く仕事に慣れ、戦力になれるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



旭川市出身
金融共済部 金融課 役場派出
石井 恵理

一日でも早く仕事を覚え皆様のお役に立てるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

令和7年度 北海道米播種祭

4月15日（火）、全道稲作生産地の豊作と農作業の安全を祈願し(株)東川振興公社にて北海道米播種祭が斎行されました。祭壇には、「ゆめびりか」「ななつぼし」「きたくりん」・酒造好適米の「彗星」「きたしずく」の種粳5品種が並べられ、祝詞が献上されました。播種の儀では、東川町 市川副町長、北海道農業協同組合中央会旭川支所 松島調査役、JAひがしかわ 牧組合長、北海道神宮神饌田協賛会 林会長、東川町農業委員会 梶畑会長より播種された育苗箱が並べられました。



令和6年度 家庭介護 教室のご報告

高齢化の進展に伴い重要課題となっている認知症高齢者と家族への支援のため、家庭介護教室をWEB開催という形で実施し、36JA 267名の方々に参加いただきました。



令和6年
11月19日(火)

担当病院 旭川厚生病院
参加者 61名

講義①
**住み慣れた家で
その人らしく暮らし
続けるために**
～排泄の介助に必要なこ
とは?～

講義②
こんな時どうしよう?
～認知症の人も、あなたも、
みんなが笑顔で暮らすため
のヒント!～

令和6年
11月22日(金)

担当病院 網走厚生病院
参加者 87名

講義①
**むせこみを防ぐ
食事介助のポイント**

講義②
こんなときどうする
～認知症かな?と思ったら
何をしたらいい?～



令和6年
11月25日(月)

担当病院 倶知安厚生病院
参加者 119名

講義①
**在宅介護に関わる
医療について**
～住み慣れた地域で安心
して老い、自分らしく暮らす
ために～

講義②
**アドバンス・ケア・
プランニング**
～認知症の父の介護と在宅
看取りの経験から～

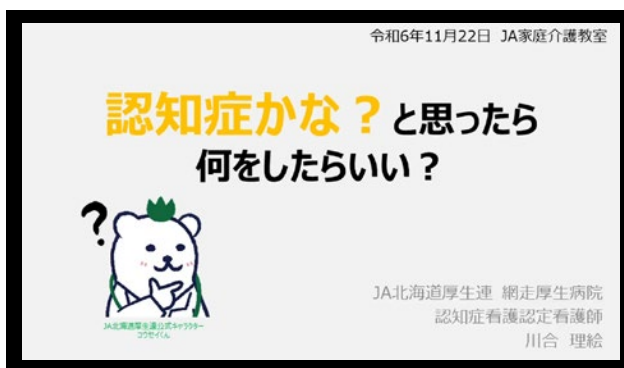
講義の一部を **YouTube** で配信しています!



<https://youtu.be/tEq1c8XpSV4>



<https://youtu.be/J9mUps6EJQQ>



<https://youtu.be/jKmpiHm3m5I>



<https://youtu.be/uqDIET3TxhE>

JAグループ北海道 100歳プロジェクト通信 (R07.3発行)

生活習慣病のリスクをチェックしましょう!

あなたが糖尿病、高血圧、脂質異常症、脳卒中、心筋梗塞などの生活習慣病にかかりやすいかどうか、そのリスクをチェックしましょう。

下記の項目の内、どのくらいあてはまりますか?

生活面

3個以上当てはまる方は**要注意!**

- | | | |
|--|--|--|
| ☐ 20歳時よりも体重が10kg以上増えている | ☐ 歯磨きは1日1回以下である | ☐ しばしば孤独感を感じる |
| ☐ お酒は1回2本※以上、かつ週5日以上飲む | ☐ タバコを吸う | ☐ 人と話すことが少ない |
| ※目安は、350mL缶のアルコール飲料2本またはお酒2合 | ☐ 1日の座っている時間が9時間以上である | ☐ 3年以上健診を受けていない |
| | ☐ 睡眠不足で昼間眠気がくる | ☐ 安静時心拍数が毎分90回以上である |

食事面

2個以上当てはまる方は**要注意!**

- | | | |
|---|---|--|
| ☐ 食事を抜いたり、時刻がまちまちである | ☐ 1日の野菜や果物の摂取量が両手に載る1杯以下 | ☐ 好きな食べ物に偏ってしまう |
| ☐ 外食回数は週8回以上である | ☐ 塩分が多い味付けが好みである | ☐ 糖分を含む飲み物を1日4回以上飲む |
| ☐ 早食いである | | |

運動面

1個以上当てはまる方は**要注意!**

- | | |
|---|---|
| ☐ 1日で体を動かすこと※が60分未満である | ☐ 1週間の運動は60分未満である |
| ※日常生活における家事・労働・歩行など | ☐ 休日は天気が良くても外出することが少ない |

日本生活習慣病予防協会資料より抜粋



☆JA健康寿命100歳プロジェクト対策協議会とは

健康寿命100歳を目指して、JA組合員ならびに役職員及びその家族の健康を守る活動とゆとりといきがいのある暮らしで元気に100歳まで生活する高齢者福祉活動に向けて、平成23年7月に組織改編し活動を行っています。

構成団体

JA北海道中央会、JA北海道信連、ホクレン、JA北海道厚生連、JA共済連北海道、北農健保組合(賛助会員)



JA健康寿命100歳プロジェクト

ニューカントリー

定期購読のご案内



ニューカントリーは 1954 年創刊の北海道の農業専門誌です。栽培・土づくりといった基本技術から最新の試験研究、経営の考え方や政策の動向、暮らしに役立つトピックなど、北海道の農業・農村に関わるさまざまな情報を掲載しています。

年間購読料

22,757 円

(増刊号込み・年 14 冊)

[通常号] 1,364 円

[夏期増刊号] 2,114 円

[秋季増刊号] 4,275 円

(いずれも送料・税込み)



2 次元コードからも
お申込みいただけます

FAX 011-271-5515

注文日 年 月 日

お名前	
ご住所	
TEL	

支払方法 (○をお付け下さい)

- クミカン
(農協名: 番号:)
- 請求書 (申し込み住所と 同・別)
※別の場合は下記に記入してください

〒

(株) 北海道協同組合通信社
060-0005 札幌市中央区北 5 条西 14 丁目 TEL 011-209-1003 FAX 011-271-5515
Mail kanri@dairyman.co.jp HP https://dairyman-ec.com

農業用廃プラスチック処理 受入れのご案内

フレコンのみ **木** フレコン・バラ受入 **金**

6月19日~20日

■場所:キトウシの森 第2駐車場 西5号北41番地

時間 9:00▶12:00 13:00▶15:00

農業を行う上で使用済みとなった農業用プラスチック類は、産業廃棄物として適正に処理することが法律で定められております。違反した場合は、懲役や罰金が課せられる可能性もありますので、下記の通り必ず分別し搬入してください。

ビ 農業用ビニール ハウス・トンネル用被覆ビニール ・「農ビ」のマークが印刷されている。 ・引き裂きにくくひつぱり箇所が透明。劣化した物はバリバリしている。	ポ 農業用ポリエチレン マルチフィルム・肥料袋・農業ポリ容器・ハウスバンド・灌水チューブ (ゴム製不可) ・「農PO」「農PE」「ノーポリ」のマークが印刷されている。 ・引っ張ると波を打って白くなる。	空 空容器等 空ボトル・空袋 (紙・プラ) アルミ内装紙袋は、農業容器に分類します。 ※農業容器等のボトルは 3 回以上洗い流し、袋 (紙・プラ) は中身を空にしてから持ち込んでください。
---	---	--

★フレコン袋に「ビ」・「ポ」「空」と記入して分別してください★

○ 受入可能なもの 複数ある場合は、搬入時にばらけてしまわないように、ビニール紐などで束ねてお持ちください。	✕ 回収不能なもの 金属類、ゴム類 (ゴムホース等) も受入れできません。
---	--



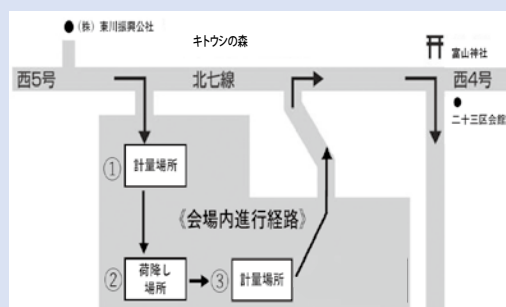
注意

※泥や水が付着しているとその分重量が増加し料金が上がってしまいますので、落としてから搬入してください。

※金属類・ゴム類 (ゴム手袋・ゴムホース等)・蛍光灯・ライター等は受入れてできません。

※金属片・石等の混入があった場合、機械故障の原因となり、損害賠償の懸念もありますので、除去の徹底をお願いいたします。

※走行中、道路に落下しないよう荷崩れ防止に十分ご配慮ください。



西 5 号北 41 番地 キトウシの森 第二駐車場

料金は、決定次第お知らせいたします。

お問い合わせ JAひがしかわ営農企画課 (Tel82-2124)

2025年 5月の予定

1 木
2 金
3 土 憲法記念日 アグリサポートセンター営業日 (8:30~12:00)
4 日 みどりの日
5 月 こどもの日 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 火 振替休日 アグリサポートセンター営業日 (8:30~12:00)
7 水
8 木
9 金
10 土 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き) アグリサポートセンター営業日 (8:30~12:00)
11 日
12 月
13 火
14 水
15 木 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
16 金
17 土 アグリサポートセンター営業日 (8:30~12:00)
18 日
19 月
20 火 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
21 水
22 木
23 金
24 土 アグリサポートセンター営業日 (8:30~12:00)
25 日 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
26 月
27 火
28 水
29 木
30 金 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
31 土 アグリサポートセンター営業日 (8:30~12:00)

2025年 6月の予定

1 日
2 月
3 火
4 水
5 木 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 金

理事会の動き

第3回 理事会 日程：令和7年4月8日（火）

【議決事項】

- 議案 1 号 理事者の公式席順（案）について
- 議案 2 号 特別委員会委員の選任について
- 議案 3 号 関係団体等にかかる外部役員等の兼職ならびに組織推薦（案）について
- 議案 4 号 役員報酬の個別支給額の決定について
- 議案 5 号 行政庁提出用業務報告書の承認について
- 議案 6 号 通常例検査に係る回答書の提出について
- 議案 7 号 令和7年度産米穀等収穫前出荷契約の取り進めについて
- 議案 8 号 令和7年度懇談会の回答について
- 議案 9 号 令和7年度農家経済再建指導農家について
- 議案10号 理事者の利益相反取引について
- 議案11号 旧スタンド解体工事に伴う指名競争入札の業者指名について
- 議案12号 固定設備の修繕について
- 議案13号 JAひがしかわ組合員ふれあい祭り（仮称）実行委員会設立について

農協文庫 新刊



おとなの冷たいデザート



はちみつスイーツ



疲れていても、おいしいものが食べたい！
若山曜子の気楽に作る日々のごはん



最強のチキンカレー



小学生のお菓子ブック2
HAPPY!ぜ〜んぶひとりでできちゃう！

JAひがしかわ事務所前エントランスにて展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係 0120 - 82 - 2125 へ